※令和４年度以降入学生用

学校番号	328

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合」（実教出版）						
副教材等	「新詳　歴史総合」　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では 18 世紀以降の近現代史の学習を行います。近代の日本と世界の諸地域（特にアメリカ・ヨーロッパとアジア）について学んでいきますが、特定の地域にとらわれることなく、世界全体の動きを注視していきます。学習にあたっては諸資料に基づいて考察することを重視します。また日本が欧米や周辺地域から受けた影響と、逆に与えた影響の相互の影響を考察することが大切です。これらを踏まえて、しっかり取り組んでほしいと考えています。

２　学習の到達目標

a：知識・技能
　社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりするための必要な知識を習得する。
b：思考・判断・表現
　課題追求活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
c：主体的に学習に取り組む態度
　近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、時期・年代・推移・比較・相互の関連や現在とのつながりに着目し、主体的・多面的・多角的に考察し、効果的に説明する力を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究・解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる自覚、我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史の扉	・高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身に付けさせる。	a:身の回りの事象と世界の歴史がつながっている事を理解している。 b:身の回りの事象と世界の歴史がつながりについて考察し、自分の考えを表現している。 c:諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度
	第一編・近代化と私たち	第1章　近代化への胎動 ・17 世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸時代の生産・流通と蝦夷地 ・幕政の改革と東アジア世界	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米の貿易などをもとに、18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。 b:18 世紀のアジア諸国の経済がアジア諸国に与えた影響などに着目して主題を設定し、アジア諸国と欧米諸国の関係などを多角的に考察している。 c: 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度
		第2章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・ヨーロッパの主権国家体制の成立 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・世界市場の形成 ・オスマン帝国の衰退とロシア ・イスラームの拡大 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	a:18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などをもとに、工業化と世界市場の形成を理解している。 b:産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して主題を設定し、比較・関連付けを行い、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多角的に考察している。 c: 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度

※令和４年度以降入学生用

1	第一編・近代化と私たち	第3章　欧米諸国と日本の国民国家形成 ・イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・文明開化 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	a:イギリス・フランスの繁栄について、内政・外交の両面から理解するとともに、国民国家の形成とナショナリズムの運動に着目する。また明治維新により、日本がどんな国家に変化したのかについて理解している。 b:国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域を比較するとともに、相互関係を多面的・多角的に考察している。 c: 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度
		第4章　帝国主義の時代 ・近代化する日本を訪れた外国人 ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・産業革命の光と影	a:列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などをもとに、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 b:帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジアと他地域の動向を比較するとともに、帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察している。 c: 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 発表	提出物 授業態度 発表
2	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	第5章　第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a:第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化などに関する資料から情報を読み取り、まとめる技能を身につけている。 b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 c: 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度

※令和４年度以降入学生用

2	第2編　国際秩序の変化や大衆化と私たち	第6章　経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 ・国際連合の成立と冷戦 ・日本占領と日本国憲法 ・朝鮮戦争と日本	a:世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などをもとに、国際協調体制の動揺を理解している。 b:経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などを考察する。また日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 発表	提出物 授業態度 発表
3	第3編　グローバル化と私たち	第7章　冷戦と脱植民地化 ・植民地の独立 ・核実験と核競争 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治動向、軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などをもとに、国際政治の変容と経済成長下の日本の社会を理解している。 b:地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響、日本の高度経済成長背景と影響に着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較し、相互に関連付けることによって、冷戦下の世界経済や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度

※令和４年度以降入学生用

3	第3編　グローバル化と私たち	第8章　多極化する世界 ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終息へ ・日本の経済大国化	a:石油危機、世界経済の変化、冷戦の終結などを理解する。 b:経済の自由化と技術革新の影響、冷戦の変容と終結の背景などに着目し、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較し、相互に関連付けることによって、冷戦末期から冷戦終結時の状況を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度
		第9章　グローバル化と現代世界 ・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容	a:地域紛争の拡大、グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、冷戦後の国際秩序の変化を理解する。 b:地域紛争の拡散の背景、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:　諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 発表	提出物 授業態度 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度